

日本赤十字北海道看護大学の講義を支援

昨年に引き続き、日本赤十字北海道看護大学(北見市)1年生の選択科目「フィールドワーク」について、6月6日(木)に森林や林業などについての講義を行い、翌6月7日(金)午後、大学の近くにある野付牛公園において森林散策を行いました。

当日は久しぶりに夏日となる暑い日でしたが、参加学生が95名ということで、当ふれあいセンター職員4名だけでは対応できないため、地元の森林ボランティア「オホーツクの会」の方々6名にもお手伝いをいただき、実施しました。



最初に、95名を8班に分けるため、クイズを行い、12名前後の集団になったところから順に出発していくという方法で、班分けを行いました。

散策途中においては、木や草花などをガイドし、薬剤に関する物が自然の中にたくさんあることを知ってもらいました。また、ネイチャーゲーム(フィールドビンゴ、カモフラージュ)も学生に体験してもらい、将来、医療関係へ進まれた時に、子ども達とふれあう機会に利用してもらえればと思いました。



(カモフラージュを体験)



今回お手伝いいただいた「オホーツクの会」の方々には学生を引き連れて案内するガイド役を行っていただきましたが、そのために、何度か野付牛公園に来ていただき、当ふれあいセンター職員と相談しながら、ガイドのポイントなどを勉強してもらいました。その甲斐もあって、学生から楽しく散策を体験できたと

好評でありました。

今回の散策を機に、森林浴など森林への興味を学生が持ってもらえ、ゆくゆくは森林ボランティアへも参加してもらえればと思いました。